

SEIYU シネマニューウェーブ第2弾

ガルシア=マルケス来日記念

FESTIVAL DEL NUEVO CINE LATINOAMERICANO '90

新ラテンアメリカ映画祭'90

10月13日(土)~10月19日(金)

この秋、G=マルケスの愛に我を忘れる

●Aプログラム

〈ガルシア=マルケス映画特集〉

——ガルシア=マルケスの
原作または脚本による長編作品

銀座テアトル西友

銀座線京橋駅下車(旧テアトル東京跡) ☎03-535-6000

●Bプログラム

〈新ラテンアメリカ映画の回顧〉

——新ラテンアメリカ映画をめざす
各国の古典的な名作を回顧上映

丰ネ力錦糸町

JR錦糸町南口・西武7階 ☎03-631-3121

「愛のために覚えておくべき唯一のことは
誰も人生を教えてくれないということ」
ガルシア=マルケス「コレラの時代の愛」より

主催 ▶ (株)西友

後援 ▶ FNCL(新ラテンアメリカ映画基金)

ICAIC(キューバ共和国映画芸術・産業庁)

国際交流基金

(社)日本映画製作者連盟

(社)外国映画輸入配給協会

在日関係国大使館

協力 ▶ (株)シネセンソ/(株)国際シネマライブラリー

“この秋、G=マルケスの愛を観る”

ノーベル賞作家ガブリエル・ガルシア=マルケスを中心として、ラテンアメリカ映画人が結集した新ラテンアメリカ映画基金(FNCL)、その最初の国際共同プロジェクトが、“愛の不条理”シリーズである。中南米各国の代表的映画人が、それぞれの民族的性格を活かしながら、G=マルケスの眼を通してさまざまな愛の運命、その歓喜と悲哀、苦悩と不条理を色彩豊かに展開している。このシリーズに、G=マルケスがチリの親友ミゲル・リティン監督のために脚本を書いた「モンティエルの未亡人」を加えた、今回の7作品の一挙公開は、ラテンアメリカ映画運動にける巨匠の情熱と才能の全貌を初めて紹介する画期的な機会であり、新興ラテンアメリカ映画のめざましい意欲を強くアピールすることになる。

A プログラム

〈ガルシア=マルケス 映画特集〉

—ガルシア=マルケスの
原作または脚本による長篇作品

「愛の不条理」"AMORES DIFICILES"

「フォルベス夫人の夏」 EL VERANO DE LA SEÑORA FORBES

1988年/メキシコ・スペイン/1時間29分/カラー
監督・脚本:ハイメ・ウンベルト・エルモシーヨ
主演…ハンナ・シグラ



美しいメキシコ海岸の邸宅に、ドイツ人の家庭教師フォルベス夫人がやってくる。子供達に見せる厳格な昼間の顔とは正反対に、情熱的で官能的な夜の顔を持つ彼女。子供達の眼を通して描かれる一人の青年との恋愛ゲームは、驚くべきフィナーレへと進んでいく…。ヒロインを演じるのは、「マリア・ブラウンの結婚」、「リリー・マルレーン」等で、現代ドイツ映画界を代表するハンナ・シグラ。

「美女と鳩の寓話」 FÁBULA DE LA BELLA PALOMERA

1988年/ブラジル・スペイン/1時間15分/カラー
監督・脚本:ルイ・ゲーラ
主演…クラウディア・オハナ



オレステスはブラジルのある町の実力者。友人の妻たちと愛の無い情事を重ねている彼は、ある日美しい人妻フルビアと出会い、激しい恋に落ちる。彼女の飼っている伝書鳩を使って愛の手紙をやり取りし、二人は密会を重ねたが…。マルケス原作の「エレンディラ」で特異な幻想の世界を描いたルイ・ゲーラ監督が、同作品の主演女優クラウディア・オハナを再び主演に起用して、官能的愛の悲劇的な結末を描く。

「モンティエルの未亡人」 LA VIUDA DE MONTIEL

1980年ピアリッツ国際映画祭審査員特別賞/
同ウエルバ国際映画祭グランプリ
1979年/メキシコ・ベネズエラ・キューバ/
1時間48分/カラー
監督・脚本:ミゲル・リティン
共同脚本:ホセ・アグスティン
主演…ジェラルディン・チャップリン



広大な土地を持ち、民衆に憎まれ続けたモンティエル家の当主が死んだ。ひとり残された未亡人の、夫への激しく深い愛を、過去と現在を交錯させて描き出す。主演はジェラルディン・チャップリン。「アルシノとコンドル」の親友ミゲル・リティンのために自作の短編を脚色化。2人の親密な関係は、リティンのドキュメンタリーを、マルケスが「戒厳令下チリ潜入記—ある映画監督の冒険—」としてルポした事でも有名。

「ローマの奇跡」 MILAGRO EN ROMA

1988年/コロンビア・スペイン/1時間20分/カラー
監督・脚本:リサンドロ・ドゥケ・ナランホ
主演…フランク・ラミーレス



コロンビアの小さな町の判事マルガリートに最愛の一人娘エベリアが急死する。12年後、墓を訪れたマルガリートは、そこに変わらぬ愛らしい姿のまま眠ったように横たわる娘を見いだす。この不思議な出来事は町の人々に大反響を巻き起こすが、司教たちは同意しない。「奇跡」を法皇に認めてもらおうと、ローマを訪れたマルガリートは、政治的な陰謀、外交的駆け引き、警察の追及などの渦の中で、再び奇跡を待つが…。

「公園からの手紙」 CARTAS DEL PARQUE

1988年/キューバ・スペイン/1時間34分/カラー
監督・脚本:トマス・グティエレス・アレア
主演…ビクトル・ラブラーセ



ハバナ郊外の小さな町で、気球による飛行実験が行われようとしていた。じっと見守る見物人の中に、空を飛びたいと憧れる青年ファンと美少女マリアがいた。互いに一目ぼれした二人は、偶然に同じ代書屋ペドロにラブレターの代筆を頼む。ペドロの愛の手紙のおかげで、二人の愛は進行するが、そこにはペドロ自身のマリアへの熱い思いが込められていた。「天球の晩餐」のトマス・グティエレス・アレアが贈るロマンチックな愛の叙情詩。

FESTIVAL DEL NUEVO CINE LATINOAMERICANO '90

シリーズ

「幸せな日曜日」

UN DOMINGO FELIZ

1988年/ベネズエラ・スペイン/1時間35分/カラー

監督・脚本:オレガリオ・バレラ

主演…ピクトル・クイカ



NYでの成功を夢んでいるサクセス奏者シルビーノは、ある日曜日のステージで、億万長者の息子カルリートスに出会う。孤独な少年は、理解してくれない両親の愛を試すため、自作自演の誘拐劇をデッチ上げる。必死になって行方を探す両親と刑事らの心配をよそに、少年は、“夜の街”の冒険を楽しんだが、いたずら心から始まったゲームは思いがけない結末を迎える…。

「バルセロナ、愛の迷宮」

YO SOY EL QUE TÚ BUSCAS

1988年/スペイン/1時間32分/カラー

監督・脚本:ハイメ・チャバリ

主演…パトリシア・アドリアーニ



売れっ子モデル、ナタリアは、帰宅途中に暴漢に襲われる。ショックから立ち直れないまま、彼女は自分をレイプした男を探し始める。バルセロナをさまようナタリアの前に現れる不思議な街の相貌。孤独な捜索を続ける彼女は、次第に犯人に複雑な愛情を持つようになる…。監督のハイメ・チャバリは、カルロス・サウラや、ピクトル・エリセラに師事。ナタリアを演じるのは「エル・ニド」のパトリシア・アドリアーニ。

B プログラム

〈新ラテンアメリカ映画の回顧〉

—新ラテンアメリカ映画をめざす各国の古典的な名作を回顧上映—

「コインを！」

TIRE DIE

1959年/アルゼンチン/33min

監督:フェルナンド・ピッツリ

貧しい子供達の必死に生きる姿を描く、アルゼンチン初の社会派ドキュメント。

「エル・メガノ」

EL MÉGANO

1955年/キューバ/20min

監督:フリオ・ガルシア・エスピノーサ/トマス・グティエレス・アレア

新ラテンアメリカ映画の先頭を切ったキューバ映画史に輝くセミドキュメント。

「洪水地帯の人々」

LOS INUNDADOS

1961年/アルゼンチン/1h30

監督:フェルナンド・ピッツリ

民衆の哀歎をネオ・リアリズムの喜劇調で描くパワフル・コメディ。

「人民の勇気」

EL CORAJE DEL PUEBLO

1971年/ボリビア/1h40

監督:ホルヘ・サンヒネス

ボリビア民衆の権力の抑圧に対するすさまじい怒りと抵抗を描く。

「リオ40度」

RIO, 40 GRAUS

1955年/ブラジル/1h32

監督:ネルソン・ペレイラ・ドス・サントス

“シネマ・ノーボ”の先駆となった古典的名作。サンバのリズムに乗せて描く真夏の一日。

「リード：反乱するメキシコ」

REED: MÉXICO INSURGENTE

1971年/メキシコ/1h48

監督:ポール・レデューク

「レッズ」で知られる世界的ジャーナリスト、ジョン・リードのメキシコにおける軌跡。

「煉瓦労働者」

CHIRCALES

1966-68年/コロンビア/45min

監督:マルタ・ロドリゲス/ホルヘ・シルバ

レンガ作りで家計を支える一家の生き様を描いた、ライブチヒ映画祭金賞に輝く記録映画の傑作。

●上映スケジュール

銀座テアトル西友

【シンポジウム】▶「新ラテンアメリカ映画をめぐって——」
 ▶日時 10月13日(土) 2:00~4:00
 ▶場所 銀座テアトル西友
 ▶ゲスト フリオ・ガルシア・エスピノーサ(キューバ映画芸術・産業庁長官)
 ドローレス・ルイサ・カルビーニョ(キューバ映画・テレビ国際学校副校長)
 アルキーミア・ペーニャ(新ラテンアメリカ映画基金事務局長)
 ホルヘ・サンチェス(新ラテンアメリカ映画基金理事)
 クラウディア・オハナ(「美女と鳩の寓話」主演女優)
 ▶司会 山田和夫(映画評論家)

※シンポジウムは、映画祭の鑑賞券をお持ちの方は無料

※ただし、10月13日は、
 PM2:00~4:00シンポジウム
 PM4:30から「公園からの手紙」
 PM7:00から「フォルベス夫人の夏」

	12:30	3:30	6:30
10/13(土)	美女と鳩の寓話	2:00~シンポジウム 公園からの手紙4:30より	7:00~ フォルベス夫人の夏
10/14(日)	公園からの手紙	ローマの奇跡	美女と鳩の寓話
10/15(月)	モンティエルの未亡人	幸せな日曜日	バルセロナ、愛の迷宮
10/16(火)	幸せな日曜日	バルセロナ、愛の迷宮	ローマの奇跡
10/17(水)	ローマの奇跡	美女と鳩の寓話	モンティエルの未亡人
10/18(木)	フォルベス夫人の夏	モンティエルの未亡人	幸せな日曜日
10/19(金)	バルセロナ、愛の迷宮	フォルベス夫人の夏	公園からの手紙

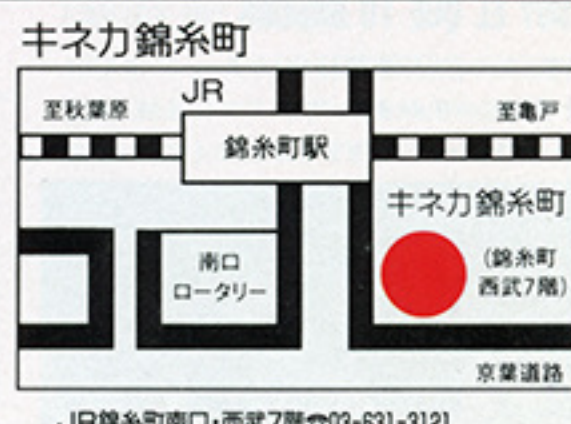
キネカ錦糸町

【シンポジウム】▶「新しい世代と映画の未来を語る——映画人育成教育について——」
 ▶日時 10月14日(日) 2:00~4:00
 ▶場所 キネカ錦糸町
 ▶ゲスト ドローレス・ルイサ・カルビーニョ
 アルキーミア・ペーニャ
 ▶司会 山田和夫

※ただし、10月14日は、
 PM12:15から「リオ40度」
 PM2:00~4:00シンポジウム
 PM5:30から「コインを/」「洪水地帯の人々」

	1:15	3:45	7:00
10/13(土)	コインを/ 煉瓦労働者	人民の勇氣	リオ40度
10/14(日)	(12:15) リオ40度	シンポジウム 2:00~ ※シンポジウムの中で「エル・メガノ」を上映	(5:30) コインを/ 洪水地帯の人々
10/15(月)	洪水地帯の人々	リード:反乱するメキシコ	エル・メガノ 煉瓦労働者
10/16(火)	リオ40度	人民の勇氣	リード:反乱するメキシコ
10/17(水)			
10/18(木)	〈エレンティラ〉 1h45	① 12:15	② 2:30
10/19(金)			③ 4:45 ④ 7:00

- 〈来日予定メンバー〉
 ▶ガブリエル・ガルシア・マルケス(作家・脚本家)
 ▶マックス・マラムビオ
 (“愛の不条理”シリーズ製作総指揮)
 ▶クラウディア・オハナ(「美女と鳩の寓話」女優)
 ▶フリオ・ガルシア・エスピノーサ
 (ICAIC長官、FNCL理事)
 ▶ドローレス・ルイサ・カルビーニョ
 (キューバ映画・テレビ国際学校副校長)
 ▶アルキーミア・ペーニャ(FNCL事務局長)
 ▶ホルヘ・サンチェス(FNCL理事)



- 特別鑑賞券1,300円(1回券)、3,000円(3回券)発売中/
 (当日一般1,600円、学生1,300円税込み) ※両館とも自由席・入替制。
- お求めは、都内各プレイガイド、チケット・セゾン、チケットぴあ、セゾン系各劇場にて。

「ニカラグア・プリミティブ」

- ニカラグアの農民たちの日常生活を色鮮やかに描いた“楽園”を思わせる素朴画の展示
- 期日/10月11日(木)▶10月15日(月)
- 会場/スタジオ錦糸町
 (錦糸町西武ザ・プライム 6F)

「ガ」

- 「コレラの時代の愛」……………新潮社より近刊 予定
- 「迷路の中の将軍」……………新潮社より近刊 予定
- 「悪い時」(「モンティエルの未亡人」原作) ……新潮社 刊
- 「族長の秋」(世界の文学 第19巻)……………集英社 刊
- 「ママ・グランデの葬儀」(集英社文庫)

PL.F.R.D.D.063